報告事項１（周知・報告）

南河内地域における中高一貫校設置に向けた検討について

南河内地域における中高一貫校設置に向け、別紙のとおり検討を進めることを報告する。

平成26年６月20日

１－１

（別紙）

南河内地域における中高一貫校設置に向けた検討について

１．検討を進める理由

大阪府内で今後著しい人口減少が予想される南河内地域において、併設型中高一貫校を設置することにより、南河内全体の教育力を高めるとともに、地域活性化を図るという構想が本年３月、府立富田林高等学校及びその関係者から提案された。（添付資料参照）

本提案においては、併設型中高一貫校を設置して先進的英語教育や理数教育を重視した学校をめざすなどの具体的な教育プランについて、高い熟度での検討がなされている。

府教委としても、本提案の併設型中高一貫校設置により、課題解決力等のこれからの社会で求められる力をじっくり育むなどの教育的効果が期待できること、また、当該校が地域のいわば「リーディングスクール」として周辺の公私立の学校に刺激を与え、南河内地域の学校が切磋琢磨して互いの教育力を高めるなど地域の活性化も期待できることから、設置に向けた検討を行うものである。

２．検討項目

(1) 教育方針について

(2) 設置形態について

(3) 設置場所について

(4) 設置時期について

(5) その他

３．検討体制

府教委事務局教育振興室高校再編整備課の職員及び府立富田林高等学校の教職員からなるプロジェクトチームを設置する。

４．検討スケジュール

プロジェクトチームにおいて検討を進めたうえで、本年秋頃を目途に、設置に関して教育委員会会議に諮ることを目標とする。

１－２